



## ●村内の小学生が、科学実験から各種スポーツ、クッキングまでさまざまな体験にチャレンジ!

平成28年度「エンジョイ・サマースクール」

小学生が充実した夏休みを過ごすために実施している「エンジョイ・サマースクール」。これは、科学実験教室や各種スポーツ教室、クッキング教室等、村や村内の各団体等が主催する催しを「エンジョイ・サマースクール」として登録し、参加するとスタンプがもらえる仕組み。地域の力で100以上のメニューを提供し、毎年延べ約1万人の小学生が参加しています。今年も7月下旬～8月に行われたこの取り組み。みんなはスタンプがいくつ集まったかな?



水路の生き物探し(7月30日)



消防署1日体験入署(8月8日)



はにわを作ろう!(7月22日)



ホッケーってどんなスポーツ?(8月6日)



サギ類のコロニー観察会(7月22日)



親子で米粉クッキング体験(8月10日)



虫博士がやってくる(7月27日)



合唱体験教室(7月30日)



職員にインタビューする篠原さん(写真中央)と永山さん(写真右)



「ちびっこ美術館」の撮影

## ●中学生が、「広報とうかい」取材班に!

村内72事業所で実施、中学生(2年生対象)の職場体験学習

8月23日・24日、職場体験学習として、役場(広報広聴課)で受け入れた東海南中学校2年生の篠原百合さんと永山愛海さんに感想を伺いました。  
▼篠原さん…私は情報をさまざまな手段で村民に伝える技術を学びたいと思い、役場の広報広聴課を希望しました。一番印象に残ったのは、フェイスブックやツイッター、広報誌にはそれぞれ特性があり、その特性を活かして情報を発信しているということです。今回の体験で学んだことを今後に活かしていきたいです。▼永山さん…人に情報を分かりやすく伝える仕事に興味があり、実際に職場を体験して、みんなの役に立ちたいと思い、広報広聴課を希望しました。一番印象に残っているのは、「ちびっこ美術館」の取材です。情報発信には写真撮影も大切で、小さい子とコミュニケーションを取ることも広報の仕事の一つなんだな、ということも学びました。

※東海中学校(2年生対象)は11月に実施予定です。

# ず〜むあっぷ「まちの風景」

## ●クッキング教室で、子どもたちの食育を！

「ヘルスメイトジュニア事業」

7～8月にかけて、小学生親子を対象とした「①親子で夏野菜収穫&クッキング体験」(5回)、「②親子で東海村オリジナルSOYJOY作り体験」(1回)、「③親子で米粉クッキング体験」(1回)が行われました。今年度から、村では食育推進事業としてさまざまな教室を開催(予定)しており、これらの体験もその一環として行われたもの。▽食を通じた健康づくり▽食文化の継承▽地産地消の推進——の3つのテーマに基づく教室全てに参加すると、「(仮称)東海村ヘルスメイトジュニア」(食育を実践する子ども)として、村が認定する取り組みです。8月9日に行われた①の体験では、村内の畑で野菜を収穫した後、村内の食材を使ってカレーライスを作りました。「キュウリがパリパリ!」「来年は、ぼくもオクラを育ててみたいな」「いつものカレーライスよりおいしい!」など、子どもたちはいつもとひと味違う特別な体験に目を輝かせていました。



かわいいカップの  
カレーライスが  
完成!



## ●長年、役場を生け花で彩った2人に感謝状!

東海村表彰

8月25日、「東海村表彰」の表彰式が行われ、渡邊セツさん(白方)と川崎洋子さん(舟石川)に、感謝状と記念品が贈られました。この表彰は、村政の発展等に寄与された方や村民の模範となる行いをされた方に贈られるもの。2人は、20年以上の長きにわたり、役場利用者のために、役場総合案内脇のスペースに生け花を展示する活動を続けてきました。利用者のいない休日や時間外に来庁し、花を生けていたという2人。山田村長からは、「殺風景な役場庁舎に花があることで、利用者の心が和みます」と感謝の言葉が贈られました。今後も、花を通じたさまざまな活動で、多くの方に癒しを与えてくれることでしょう。



【写真前列左から】渡邊さん、川崎さん【後列左から】岡崎副議長、山田村長、川崎教育長

## ●アイデアを出し合い、優良農地を守ろう!

平成28年度「農業座談会」

7月中旬から8月上旬にかけて、村内14の農業集落で、平成28年度「農業座談会」が行われました。これは、農業者の高齢化や担い手不足等、農業に関するさまざまな課題の解決に向けて、農業者や農業委員、農地利用最適化推進委員、JA常陸が共にアイデアを出し合い、解決へのヒントを見出す場として設けられたものです。今年度のテーマは「優良農地を守るためのアイデアを皆で考えよう!」。ワークショップ形式で、各グループごとに分かれ、各々の意見を付箋紙に書き出しながら、和やかに話し合いが進められました。今後は、この座談会での意見を基に、集落ごとに“人と農地をつなぐプラン”を策定していく予定です。



内宿1区での座談会の様子